

2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年5月11日

上場会社名 株式会社CRI・ミドルウェア 上場取引所 東
 コード番号 3698 URL <https://www.cri-mw.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 押見 正雄
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 田中 克己 (TEL) 03-6418-6853
 四半期報告書提出予定日 2023年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	1,452	10.7	188	327.4	202	261.2	147	—
2022年9月期第2四半期	1,312	△10.3	44	△75.4	56	△68.7	11	△89.7

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 131百万円(208.5%) 2022年9月期第2四半期 42百万円(△68.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	27.27	—
2022年9月期第2四半期	2.17	—

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	4,991	3,448	68.5
2022年9月期	5,016	3,536	69.7

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 3,416百万円 2022年9月期 3,498百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,785	△2.0	330	238.7	330	138.3	268	—
								49.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

期

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年9月期2Q	5,578,150株	2022年9月期	5,578,150株
2023年9月期2Q	354,077株	2022年9月期	121,377株
2023年9月期2Q	5,401,794株	2022年9月期2Q	5,456,807株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の要因に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、既往の資源高の影響や海外経済の回復ペース鈍化による下押し圧力などを受けているものの、企業収益は全体として高水準で推移し、業況感は横ばいとなっており、景気は持ち直しております。

当社グループを取り巻く事業環境については、新型コロナウイルス感染症の影響によりライフスタイルが大きく変容し、ボイスチャットやWeb会議ツールなどオンラインコミュニケーションツールの活用は常態化しております。また、メタバースと呼ばれる仮想空間が注目を集めるとともに、テレワークやオンライン授業、ライブコマースなど、さまざまな分野でデジタル変革が進行しており、音声・映像を活用したオンラインサービスへの要求水準も高度化してきております。

これらの状況下、当社グループは、オンラインコミュニケーションプラットフォーム「CRI TeleXus（シーアールアイ テレックス）」の開発を行うとともに、今後成長が見込める事業、市場を見据えた研究開発体制を整備し、事業基盤の拡大、グループシナジーの創出に注力いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,452,344千円（前年同期比10.7%増）、営業利益188,495千円（前年同期比327.4%増）、経常利益202,903千円（前年同期比261.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益147,312千円（前年同期比1,139.9%増）となりました。

セグメント毎の経営成績は、次のとおりであります。

① ゲーム事業

当社製ミドルウェア「CRIWARE（シーアールアイウェア）」等の国内ライセンス売上は、前期第1四半期にあった大手顧客からの一括ライセンス契約がなかったことにより、減少いたしました。海外向けは、当第2四半期以降、中国において新型コロナウイルス感染症拡大の影響が和らぎ、挽回したものの、第1四半期の不足分を補うまでには至らず、減少いたしました。一方、株式会社ツーファイブが行う音響制作は、音声収録業務が堅調に推移いたしました。株式会社アルフォース・エンターテインメントが行うゲーム開発/運営の売上は、受注済みの開発案件を着実に完了させ、増加いたしました。当セグメントの売上高は971,303千円（前年同期比2.7%減）、セグメント利益は102,963千円（前年同期比20.7%増）となりました。

② エンタープライズ事業

組込み分野の売上は、カラオケ案件の受注が好調に推移し、増加いたしました。また、モビリティについても、ADX-AT（サウンド開発ソリューション）のライセンス収入増に加え、開発案件やCRI TeleXus（シーアールアイ テレックス）のPoC案件等を受注し、増加いたしました。新規分野の売上は、CEDECなどのカンファレンスシステムやファンエンゲージメント向上システムなど、オンライン上でコミュニケーションを行うイベントシステムの開発案件を複数受注し、増加いたしました。また、特定顧客からの公共系システム開発案件も堅調に推移し、増加いたしました。当セグメントの売上高は481,041千円（前年同期比53.1%増）、セグメント利益は85,532千円（前年同期は41,239千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べて25,057千円減少し、4,991,602千円となりました。これは主に、「有形固定資産」の減少（前連結会計年度末に比べて5,452千円の減少）及び「投資その他の資産」の減少（前連結会計年度末に比べて110,960千円の減少）があった一方、「流動資産」の増加（前連結会計年度末に比べて42,021千円の増加）及び「無形固定資産」の増加（前連結会計年度末に比べて49,333千円の増加）によるものであります。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債の部は、前連結会計年度末に比べて62,477千円増加し、1,542,924千円となりました。これは主に、「その他流動負債」の増加（前連結会計年度末に比べて66,730千円の増加）及び「未払法人税等」の増加（前連結会計年度末に比べて34,709千円の増加）があった一方、「買掛金」の減少（前連結会計年度末に比べて30,923千円の減少）及び「固定負債」の減少（前連結会計年度末に比べて8,038千円の減少）によるものであります。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末に比べて87,535千円減少し、3,448,678千円となりました。これは主に、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加（前連結会計年度末に比べて147,312千円の増加）があった一方、「自己株式」の取得による減少（前連結会計年度末に比べて215,945千円の減少）及び「為替換算調整勘定」の減少（前連結会計年度末に比べて13,128千円の減少）によるものであります。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ8,493千円減少し、3,309,274千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は307,721千円（前年同期は25,385千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上202,903千円、減価償却費の計上52,642千円及び売上債権の減少額54,125千円の資金の増加要因があった一方、仕入債務の減少30,923千円及び法人税等の納付額17,382千円の資金の減少要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は92,847千円（前年同期は253,859千円の支出）となりました。これは主に、敷金及び保証金の返還による収入7,005千円の資金の増加要因があった一方、無形固定資産の取得による支出92,925千円及び有形固定資産の取得による支出6,979千円の資金の減少要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動により支出した資金は215,959千円（前年同期は96,757千円の支出）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出215,945千円の資金の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2023年2月15日および28日付適時開示で公表しましたとおり、連結子会社である株式会社アールフォース・エンターテインメント（代表取締役社長：横山 裕一／以下、アールフォース社）の全保有株式を株式会社テンダ（代表取締役会長CEO：小林 謙／以下、テンダ社）に譲渡（以下、本株式譲渡）する準備を進めておりますが、本株式譲渡実行日につきましては、本日現在、テンダ社と継続協議中です。

本日現在、本株式譲渡実行日が定まらないことから、当初見込んでいた特別利益の影響を考慮しないこととし、親会社株主に帰属する当期純利益予想のみ修正しております。なお、アールフォース社の将来業績予想につきましては、従前どおり通期業績予想には織り込んでおりません。

当期の連結業績予想数値の修正（2022年10月1日～2023年9月30日）

	連結売上高 (百万円)	連結営業利益 (百万円)	連結経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純利益 (百万円)	1株当たり連 結当期純利益 (円)
前回発表予想（A）	2,785	330	330	311	56.99
今回修正予想（B）	2,785	330	330	268	49.11
増減額（B-A）	0	0	0	△43	—
増減率（％）	0	0	0	△13.8	—
（参考）前期連結実績 （2022年9月期）	2,840	97	138	△339	△62.23

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,316,090	3,308,515
売掛金及び契約資産	630,973	592,121
有価証券	—	100,595
商品	4,063	3,954
仕掛品	18,228	19,357
その他	54,835	41,668
貸倒引当金	△20,087	△20,087
流動資産合計	4,004,103	4,046,125
固定資産		
有形固定資産		
建物	125,852	125,852
減価償却累計額	△14,577	△18,536
建物(純額)	111,274	107,316
工具、器具及び備品	116,867	118,368
減価償却累計額	△67,479	△70,475
工具、器具及び備品(純額)	49,387	47,893
有形固定資産合計	160,661	155,209
無形固定資産		
ソフトウェア	368,833	421,492
のれん	13,856	10,531
無形固定資産合計	382,689	432,023
投資その他の資産		
投資有価証券	239,794	138,869
繰延税金資産	84,032	75,677
その他	145,377	143,697
投資その他の資産合計	469,204	358,244
固定資産合計	1,012,556	945,477
資産合計	5,016,660	4,991,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	108,527	77,604
未払法人税等	20,704	55,413
その他	167,794	234,525
流動負債合計	297,027	367,543
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,000,000	1,000,000
退職給付に係る負債	129,898	124,261
役員退職慰労引当金	53,229	50,828
繰延税金負債	291	291
固定負債合計	1,183,419	1,175,381
負債合計	1,480,446	1,542,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	784,904	784,904
資本剰余金	825,290	825,290
利益剰余金	2,033,795	2,181,108
自己株式	△168,031	△383,977
株主資本合計	3,475,959	3,407,326
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	22,727	9,598
その他の包括利益累計額合計	22,727	9,598
新株予約権	10,842	7,543
非支配株主持分	26,684	24,210
純資産合計	3,536,213	3,448,678
負債純資産合計	5,016,660	4,991,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	1,312,138	1,452,344
売上原価	642,795	638,646
売上総利益	669,343	813,697
販売費及び一般管理費	625,242	625,201
営業利益	44,100	188,495
営業外収益		
受取利息	774	1,272
受取配当金	19	13
役員退職慰労引当金戻入額	—	6,232
敷金及び保証金清算益	—	7,005
為替差益	12,671	—
その他	4,933	8,261
営業外収益合計	18,398	22,786
営業外費用		
事務所移転費用	5,935	—
為替差損	—	8,245
その他	392	134
営業外費用合計	6,327	8,379
経常利益	56,171	202,903
特別損失		
固定資産除却損	20,319	—
特別損失合計	20,319	—
税金等調整前四半期純利益	35,852	202,903
法人税、住民税及び事業税	24,365	53,504
法人税等調整額	1,696	8,354
法人税等合計	26,062	61,858
四半期純利益	9,790	141,044
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,090	△6,268
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,881	147,312

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	9,790	141,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,920	—
為替換算調整勘定	11,984	△9,334
その他の包括利益合計	32,904	△9,334
四半期包括利益	42,694	131,709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,444	134,183
非支配株主に係る四半期包括利益	1,249	△2,474

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	35,852	202,903
減価償却費	60,153	52,642
のれん償却額	3,325	3,325
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△440	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,220	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,761	△5,637
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△12,385	△2,401
売上債権の増減額(△は増加)	109,134	54,125
棚卸資産の増減額(△は増加)	△17,994	△1,019
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△46,312	10,814
仕入債務の増減額(△は減少)	17,108	△30,923
未払費用の増減額(△は減少)	△30,101	△4,523
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△10,203	4,600
その他	△17,738	39,581
小計	80,937	323,487
利息及び配当金の受取額	1,185	1,616
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△56,737	△17,382
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,385	307,721
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△82,596	△6,979
無形固定資産の取得による支出	△157,232	△92,925
保険積立金の積立による支出	△823	△53
敷金及び保証金の差入による支出	△13,400	—
敷金及び保証金の返還による収入	—	7,005
その他	193	105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△253,859	△92,847
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△61	△215,945
配当金の支払額	△96,695	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,757	△215,959
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,239	△7,407
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△313,991	△8,493
現金及び現金同等物の期首残高	3,893,554	3,317,767
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,579,563	3,309,274

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当金(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年11月11日 取締役会	普通株式	109,136	20	2021年9月30日	2021年12月2日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額20円は、設立20周年記念配当であります。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額
	ゲーム事業	エンター プライズ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	997,978	314,159	1,312,138	1,312,138
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	997,978	314,159	1,312,138	1,312,138
セグメント利益又は損失(△)	85,340	△41,239	44,100	44,100

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額
	ゲーム事業	エンター プライズ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	971,303	481,041	1,452,344	1,452,344
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	971,303	481,041	1,452,344	1,452,344
セグメント利益	102,963	85,532	188,495	188,495

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり四半期純利益	2円17銭	27円27銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	11,881	147,312
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	11,881	147,312
普通株式の期中平均株式数(株)	5,456,807	5,401,794
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。